



14.既設のNS形管（呼び径75～450）を切管する場合の注意点を教えてください。



まず、既設管の管種の確認が必要です。1種管の場合は通常の切管施工を行います。一方、3種管の場合は、継ぎ輪接合用切管挿し口リングを使用した切管施工を行います。

ただし、外面に腐食が認められる場合は、健全な管厚が確保できていないことになりますので、切管して挿し口突部を形成することはできません。

また、呼び径300以上の場合、管種の確認に加え、挿し口の外周（外径）を確認する必要があります。スチールメジャーなどで外周を測定し、外径許容差内であることを確認します。

